



株式会社エネギア・コミュニケーションズ

2014年5月20日、当社は以下のとおり報道発表いたしました。

発表資料

2014年5月20日

各 位

広島テレビ放送株式会社
株式会社 エネギア・コミュニケーションズ
大和ハウス工業株式会社

二葉の里地区国有地の落札について

広島テレビ放送株式会社（以下：広島テレビ、本社：広島市、代表取締役社長：三山 秀昭）と株式会社エネギア・コミュニケーションズ（以下：エネコム、本社：広島市、取締役社長：佐野 吉雄）大和ハウス工業株式会社（以下：大和ハウス、本社：大阪市、代表取締役社長：大野 直竹）の3社は、5月20日に財務省中国財務局が実施した二葉の里地区国有地の一般競争入札に共同で参加し、落札しました。落札額は62億3千万円。二葉の里地区は現在5つの街区に分けて開発が進んでおり、落札したのは5街区の西側部分約14,800㎡です。

今後3社で土地を分割して所有し、連携・協力しながら開発を進めていきます。広島テレビは落札地区の南東の約5,100㎡を所有し、2019年の完成を目指して新社屋を建設する予定です。エネコムは北東部分の約3,400㎡を所有し2016年の竣工予定で、事業用ビルを建設します。大和ハウスは南西部分の約6,300㎡に2019年の竣工予定で、複合ビルを建設します。

地区の中央には、公開空地として長さ約100mの「二葉の里通り（仮称）」を設け、賑わいと憩いの空間を創り出します。

今回の入札は企画提案と金額の二段階入札で行われ、3社は以下の3点に配慮しながら、「広島の玄関口にふさわしい街づくり」を提案しました。

- ① 紙屋町、八丁堀など既存の商業地域への影響を考慮し、業務機能を中心とする構成としました。
- ② 常盤橋若草線の渋滞に配慮し、車両出入りを原則北側からのみとしました。
- ③ 二葉山の眺望を確保するため、東側に位置する建物は中層にとどめました。

開発スケジュールには時間差がありますが、3社は引き続き連携・協力しながら、二葉の里の街づくりに邁進していくことを申し合わせています。

以上